

令和3年度学生懸賞論文審査結果について

令和4年2月16日

大分大学経済学部教育研究支援室

本年度の学生懸賞論文には28編の応募があり、期限後にエントリーした1編を除く27編について審査した結果、次のように入選者を決定しました。

(審査委員：城戸 照子, 山浦 陽一, 木村 雄一, 松隈 久昭)

1等 1編

広島平和記念公園の価値に関する実証的研究

—ヒアリング調査と仮想評価法を用いた価値の検証—

1821273 山北 陸斗

2等 1編

母牛の役目を果たした「経産牛」の牛肉生産に関する考察

—消費者の嗜好に合った牛肉生産を目指して—

1921105 齋藤 航大 1921155 武内 美月 1921172 出口 優香 1921035 上間 賢一郎

3等 2編 (順不同)

種の交換会が創る人の結びつきがもたらす効果の考察

—食と農、教育、地域社会の観点から—

1921007 秋山 美穂 1921068 加藤 亜矢 1921287 横山 智美

マネジメント・アプローチに基づくセグメント情報の予測能力

1821014 安藤 翔太

佳作 5編 (順不同)

21世紀型フェアトレード —非認証商品の可能性—

1921190 南里 拓磨 1921051 大野 双葉 1621193 土橋 優希 1921281 山本 紫乃

校則が緩やかになっている要因とそのプロセス —学校現場と社会の取り組みを通して—

1821204 長谷川 繭

地方都市の中心市街地における空き不動産活用の可能性と限界

—大分県臼杵市を事例として—

1821027 板井 佳穂

オレイン酸を用いた和牛のブランド化の可能性

1921184 永田 恵美 1921104 是永 大和 1921138 鈴木 詩世 1921160 田中 順也

日本の美術品市場における百貨店美術部の役割

1821260 宮本 かれん

なお、下記の応募論文18編は選外となりました。(順不同)

※図書カード2000円分は代表者に郵送します。

バス利用促進のためのエリア定期導入に関する考察 —豊後大野市の学生への調査を通して—

井上 せりな・浦木 聖也・渡辺 康也・前田 将希・小西 陽人・齋藤 磨樹

農業基本法から食料・農業・農村基本法への変化 —日本の農業が目指すべき発展についての検討— 木村 仁子

利活用した廃校施設を拠点とする地域の交流機会の創出の効果 ～おおつる交流センターの取り組みに着目して～

佐藤 芙美

新リース会計基準が企業にもたらす影響

大塚 菜摘・亀田 竜平・酒井 愛

富山県高岡市におけるeスポーツイベントの創出プロセス —センスメイキング理論の観点から—

野林 未菜

中小企業支援策の政策思想の変遷 —改正中小企業基本法の検討—

萩尾 健

クラウドファンディングを通じたイノベーションの促進：資源動員理論の観点から

青柳 絢香

会計情報の「ゆがみ」が組織成員のモチベーションに及ぼす影響 —予算管理・原価配賦・業績評価に着目して—

佐藤 歓多・飯干 彩結・尾崎 眞司・岸本 慧悟・佐藤 真菜・首藤 日南・田野 駿介・那須 歩美・松崎 鈴奈

コロナ禍による別府市観光業への影響と対応 —宿泊施設と観光施設に注目して—

若松 大慈郎・青山 まゆき・足立 優衣・阿部 かほる・井上 孝史・小草 裕輝・神足 敦也・國分 菜奈・高橋 怜也・日野 智司・

藤本 龍也・安田 里穂

カルビーの成果主義を取り入れた経営改革はなぜうまくいったのか 森 響乃・金谷 実祐・犬飼 晃平・三宮 大輝

コロナ禍における業績変化によってどのような業種が新規事業を立ち上げるのか

三浦 真央・梶原 丈一郎・二井谷 千恵子

寿司から学ぶ魚食保護

安井 一貴・安武 響流・毛利 景・二宮 優介

持続可能な温泉観光地に関する考察 —別府市鉄輪温泉地区における持続可能な温泉観光地を目指して—

鎗水 友里・中嶋 彩乃・土師 陽菜子・橋本 実咲・日浅 優香・渡邊 美雅

ユニクロはなぜ標準化志向で世界展開ができてきているのか —AAA戦略フレームワークを用いて—

村岡 萌子・岩見 佳奈・高野 建志・吉田 拓未

観光行動におけるリピーター意思決定プロセス —より詳細な心理の把握に向けて—

青木 彰吾

ソニーのV字回復と掛け算経営 —両利きの経営理論から—

梅林 留菜・上本 優介・奥村 岳・永井 雅也

地域活性化・地域貢献からみる独立リーグ”大分B-リングス”の可能性と課題

首藤 玲生

コーヒーの普及に関する研究とビジネス的展開

山崎 桜生